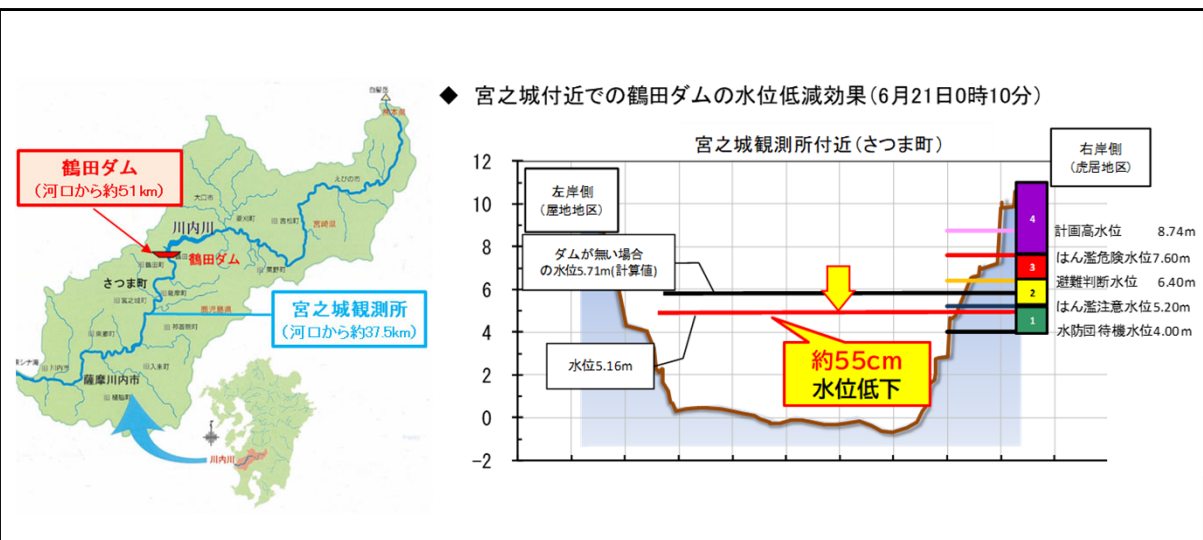
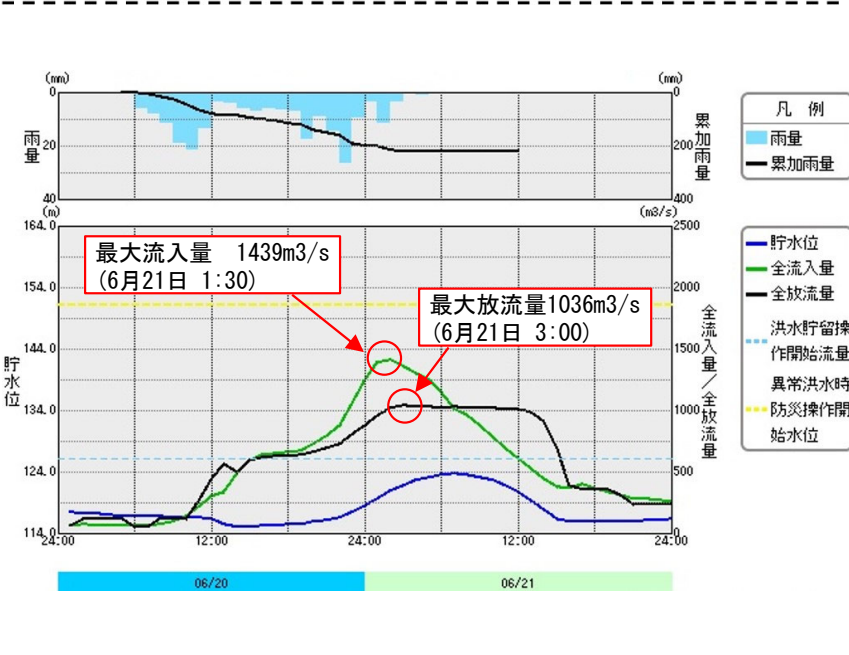
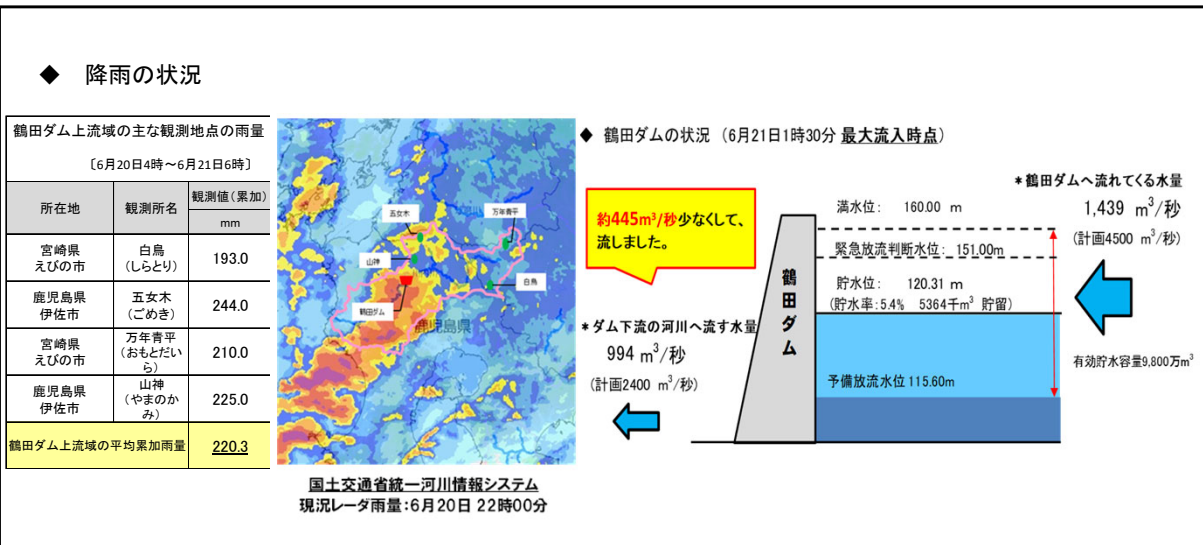


○. 防災操作の効果 鶴田ダム(川内川水系川内川)

- 梅雨前線に伴う豪雨により、鶴田ダム上流域において、6月20日～21日までの総雨量は220mmを観測しました。
- 鶴田ダムでは、20日15時10分より、ダムへ流れ込む水量の一部を貯める「洪水調節」を行いました。
- ピーク流入量は約1439m³/sを記録し、その際ダムにより約445m³/sを貯留して下流河川の増水を緩和しました。
- 鶴田ダムが無かった場合の宮之城水位観測所の水位は、はん濫注意水位(5.20m)を上回る5.71mに達していたと想定されダムの洪水調節によって**約0.55m水位を低下**させたと推定されます。



※本資料の数値は、速報値及び暫定値であるため、今後の調査で変わる可能性があります